

# 銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号  
加藤金属興業株式会社

## ◎ 2021年6月の国内電気銅建値は下記の通りです。

6月	1日	～	1170円/Kg
6月	4日	～	1130円/Kg
6月	9日	～	1140円/Kg
6月	16日	～	1100円/kg
6月	18日	～	1060円/kg
6月	23日	～	1070円/kg
6月	25日	～	1090円/kg

2021年6月度は平均で1111.40円/kgとなり、前月比45.40円/kgの値下がりとなりました。

### 海外銅価の動き

6月のLME銅相場	6/1～6/29 (安値ドル 9,042.50～10,029.00 高値ドル)
6月のNYC銅相場	6/1～6/29 (安値セント 416.25～466.20 高値セント)

6月度のLME現物は、1日\$10,212.50でスタート。1万ドル/t時代をも感じさせる6月の銅相場は、5月の1万ドル相場を引き継ぐスタートとなった。銅価格の高騰は中国の好調、世界的な経済活動の再開への期待、脱炭素化（グリーン投資）への動きなど長期的には上昇への好材料は多い。また、鉱山開発についてもリードタイムの長期化や鉱山主要国のペルーやチリにおける鉱山国有化や鉱業税率の引き上げの可能性などが新規投資の妨げとなっている。その様な状況の中、16日中国備蓄局は国家備蓄の放出を発表。5月の生産者物価指数（PPI）は近年では最高値に達しており、商品の価格抑制を進めたい意向とのこと。この経済状況での価格転嫁は難しいとの判断と思われる。今後も銅価格の動きには注視したい。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

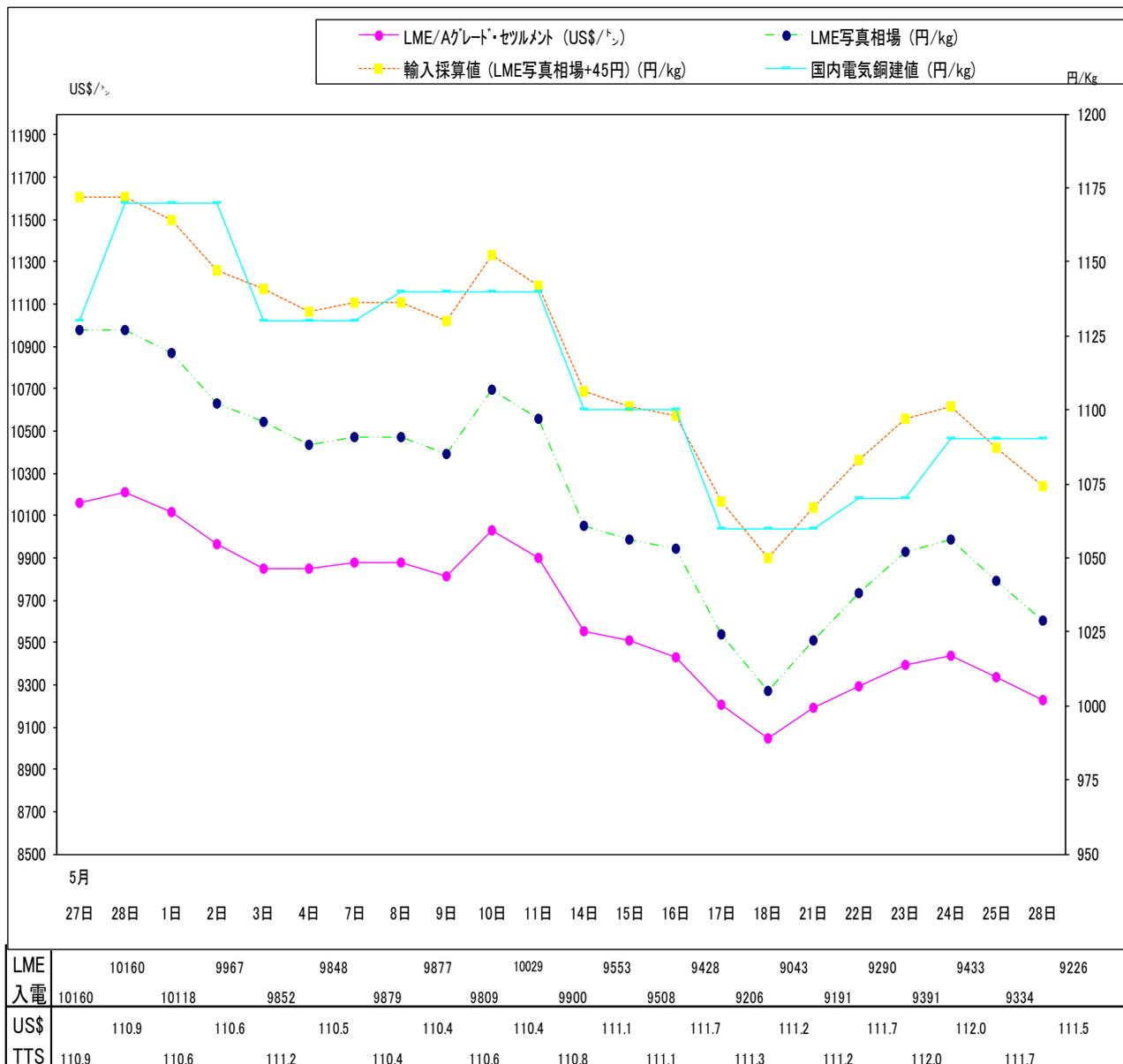
	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

### 先行き短期見通

#### 国内銅価

6月の国内建値は1日1170円でスタート。4日1130円、9日1140円、16日1100円、と徐々に下げ方向に。しかしながら、18日円高もあり1060円とし、23日1070円、25日1090円とした。6/29付LME\$9,225.00、同為替(TTS)1USD=112.00円で日本円換算計算値1,033円/kgに。2021年7月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限り1070円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年6月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 6月 1日 ~ 388 円/kg
- 6月 4日 ~ 379 円/kg
- 6月 14日 ~ 385 円/kg
- 6月 18日 ~ 370 円/kg
- 6月 25日 ~ 376 円/kg

平均378.70円/kg

2021年6月は上記の通りで前月比 2.70 円 / kg の 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

## ◎ その他の建値

電気鉛	6月	297.50 円/kg	(前月比-	1.80 円/kg)
電気錫(相対)	6月	5,000.00 円/kg	(前月比+	100.00 円/kg)
ニッケル(溶解用)	6月市中価格	2,150.00 円/kg	~ 2,200.00 円/kg	
銀	5月平均	98,150.00 円/kg	(前月比+	7,190.00 円/kg)
	6月30日	93,230.00 円/kg		
金	5月平均	6,546.11 円/g	(前月比+	362.92 円/g)
	6月30日	6,285.00 円/g		

## ◎ 伸銅品関係

### 2021年5月の伸銅品・品種別生産速報(全国ベース)

		4月度実績	5月度速報	前月比	前年5月度実績	前年同月比
銅	板	1,081	914	-15.4%	889	2.8%
	条	24,104	21,983	-8.8%	16,504	33.2%
	管	8,340	8,560	2.6%	7,323	16.9%
	棒	1,895	1,730	-8.7%	1,500	15.3%
	線	321	305	-5.0%	221	38.0%
黄銅	板	426	524	23.0%	475	10.3%
	条	8,835	7,745	-12.3%	5,521	40.3%
	管	464	378	-18.5%	338	11.8%
	棒	16,027	13,648	-14.8%	11,637	17.3%
	線	2,189	2,109	-3.7%	1,247	69.1%
青銅	板	2,702	2,541	-6.0%	1,742	45.9%
	条					
	棒	288	240	-16.7%	211	13.7%
	線					
洋白・その他	板	468	386	-17.5%	365	5.8%
	条					
	棒	415	347	-16.4%	190	82.6%
	線					
合計	67,555	61,410	-9.1%	48,163	27.5%	

5月の伸銅品生産速報は、61,410トンで前月比マイナス6,145トン、前年同月比プラス27.5%となり、前年同月比が5ヶ月連続でプラスとなりました。

## 電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の3月分実績及び4月分推定によれば、3月分実績はコロナ禍の影響もあり、割合が高い建販が2万6千500tで前年同月を下回るなど、7部門中、電気機械と自動車を除く5部門が前年を下回り、総計5万8千387tで前年同月比0.7%減少した。18ヶ月連続の減少となったが、下げ幅は圧縮した。

結果、20年度通期出荷は、7部門全てが前年を割り込み、総計62万2千648tで前年比10.3%減少。これは47年前1974年の水準。銅電線の4月分推定は、電気機械と自動車が健闘し2桁増加となった。加え、その他内需も12ヶ月ぶりにプラスに転じ、輸出も増加となり、7部門中4部門が前年を上回ったため、総量は5万4千300tで同3.6%増と、19ヶ月ぶりに増加となる見通し。

一方、3月分の部門別銅電線出荷実績をみると、プラスグループは電気機械と自動車の2部門。電気機械は自動車の電装用途と半導体、FAロボットや工作機械向けが好調で、医療向けも下支えし、同13.2%増と2桁、7ヶ月連続の伸長。

一方、マイナスグループは5部門。通信は携帯基地局用同軸が5G用に動くも、他が低調で同0.5%減と6ヶ月連続で下降した。電力は洋上風力発電向けは堅調だが他はあまり動かず、同24.2%減。建設電販は市販・電設両ルートとも鈍化で同1.7%減少。その他内需はコロナ禍などで民間の設備投資の鈍化で同10.9%低下した。輸出もコロナの影響もあり同28.6%減となった。

### 2021年3月分(実績)・2021年4月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	3月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	4月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	3月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	853	15.7	▼0.5	800	(▼6.2)	▼23.1	1,495	11.9	13.9
電力	(1,965)	(44.4)	(▼18.7)	(1,300)	(▼33.8)	(8.4)	(1,459)	(48.1)	(▼15.0)
	4,255	11.9	▼24.2	3,700	▼13.0	▼4.7	5,773	17.4	▼27.4
電気機械	(267)	(9.4)	(▼13.6)				(267)	(9.0)	(▼14.1)
	13,026	12.4	13.2	11,900	▼8.6	14.5	16,755	15.9	4.3
自動車	(176)	(6.7)	(5.4)				(723)	(13.5)	(17.8)
	8,751	14.9	10.4	8,100	▼7.4	32.1	42,688	25.2	9.1
建設・電販	(32)	(540.0)	(▼33.3)				(121)	(1412.5)	(175.0)
	26,545	10.4	▼1.7	24,500	▼7.7	▼6.6	35,104	17.7	17.5
その他内需	(71)	(39.2)	(91.9)	(500)	(▼8.4)	(37.4)	(73)	(28.1)	(73.8)
	3,839	24.7	▼10.9	4,000	4.2	6.6	7,113	25.6	1.1
内需計	(2,511)	(37.5)	(▼15.7)	(1,800)	(▼28.3)	(15.2)	(2,644)	(36.9)	(▼3.1)
	57,269	12.6	0.1	53,000	▼7.5	3.1	108,928	20.6	7.4
輸出	(1,347)	(10.1)	(▼39.9)	(100)	(▼92.6)	(▼24.2)	(684)	(4.9)	(▼42.5)
	1,118	▼7.6	▼28.6	1,300	16.3	31.6	5,442	16.4	▼7.3
合計	(3,858)	(26.5)	(▼26.1)	(1,900)	(▼50.8)	(12.1)	(3,328)	(28.8)	(▼15.0)
	58,387	12.1	▼0.7	54,300	▼7.0	3.6	114,370	20.4	6.6
心線販売	(452)	(▼3.0)	(2.0)	(400)	(▼11.5)	(▼17.5)	(118)	(0.9)	(12.4)
	25,513	7.7	▼0.6	26,800	5.0	13.6	21,958	13.7	27.2

(注) ( )内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。  
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

### 2021年3月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品 種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,389	▼1.4	27.6	3,774	5.4	36.5	
巻線	12,407	15.8	10.6	12,147	18.2	0.2	
機器用電線	3,616	13.4	8.2	11,469	16.5	14.4	
通信用電線・ケーブル	1,249	6.8	5.3	3,039	13.5	11.7	
電力用電線・ケーブル	20,056	12.3	▼15.2	23,716	18.3	▼8.1	
被覆線	10,098	10.3	1.1	16,235	17.6	16.6	
輸送用電線	6,572	18.6	9.9	43,990	26.6	10.3	
銅電線計	58,387	12.1	▼0.7	114,370	20.4	6.6	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	55	0.0	▼21.4	196	▼2.0	▼22.2
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,189	▼17.2	▼15.1	2,848	▼14.1	▼2.7
	計	2,248	▼16.8	▼15.2	3,056	▼13.6	▼4.7
アルミ電線計	3,858	26.5	▼26.1	3,328	28.8	▼15.0	
光製品	4,298,368	31.8	10.2	34,345	46.7	▼5.0	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	7,471	28.6	21.3	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、欧州のアルミ需要の拡大からLMEアルミ在庫は16万トン  
を割り込むが、ドル高に伴ってドル建てのベースメタル全般は軟調に推移。\$ 2,400を割り込む  
流れでスタート。第2週、5月米国雇用統計は、新規雇用+55.9万人と伸び留まり金融緩和の早期縮  
小見通しは後退。中国5月PPIは、2008年来の高い伸びとなり、商品市場の高騰による影響が明  
白となる。アルミ価格は、中国での電力消費抑制策によるアルミ精錬施設での減産などを背景に底堅  
く推移。第3週、中国の国家備蓄から銅やアルミが放出されるとの報道及びLMEアルミ在庫が32,  
000トン超の純増でアルミは下落。さらに中国で備蓄されていた非鉄商品が近い将来放出されると  
の発表や国有企業の海外市場での持ち高を調整させるとの報道から下押し。FOMCの結果は、米金  
利上昇・ドル高を導いたことからメタルは、全般下落基調で推移。第4週、FRBのタカ派転換が一  
服して米株が持ち直し、LMEアルミ在庫で10万トン近いキャンセルワラントの観測で弱冠の上昇。  
さらに中国に備蓄されていたアルミ5万トンが入札により放出されるとの報道もあり方向感が見えづ  
らい状況。\$35程度の狭いレンジで推移。最終週、LMEアルミ在庫が15万トン台となった事や、  
中国で引き続き電力抑制政策を受けた生産制限となっていることが下値を支えている。米インフラ投  
資計画の暫定合意が全体の買い材料。採決は9月末までに予定されている。LME在庫からは引き続  
き搬出が続いており、6月を通して16%減少。米経済指標の発表待ちで目先は、\$2,500を挟み  
プラスマイナス\$30程度のレンジでの推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格(CIF)      2021年    5~6月積    2,645.00~2,655.00ドル/トン
- ・輸入採算価格                    2021年    5~6月積    313.10~314.30円/kg
- ・NSP                                2021年    4月        311.40円/kg
- ・NSP(メーカー対応価格)       2021年    7月~9月   320.00円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高(単位=千トン)

	'21年4月	'21年5月	'20年5月
月生産	*2,327.0	2,400.0	2,362.0
平均日産	*77.6	77.4	76.2

(\* =訂正有り) 中国は対象外にしております。

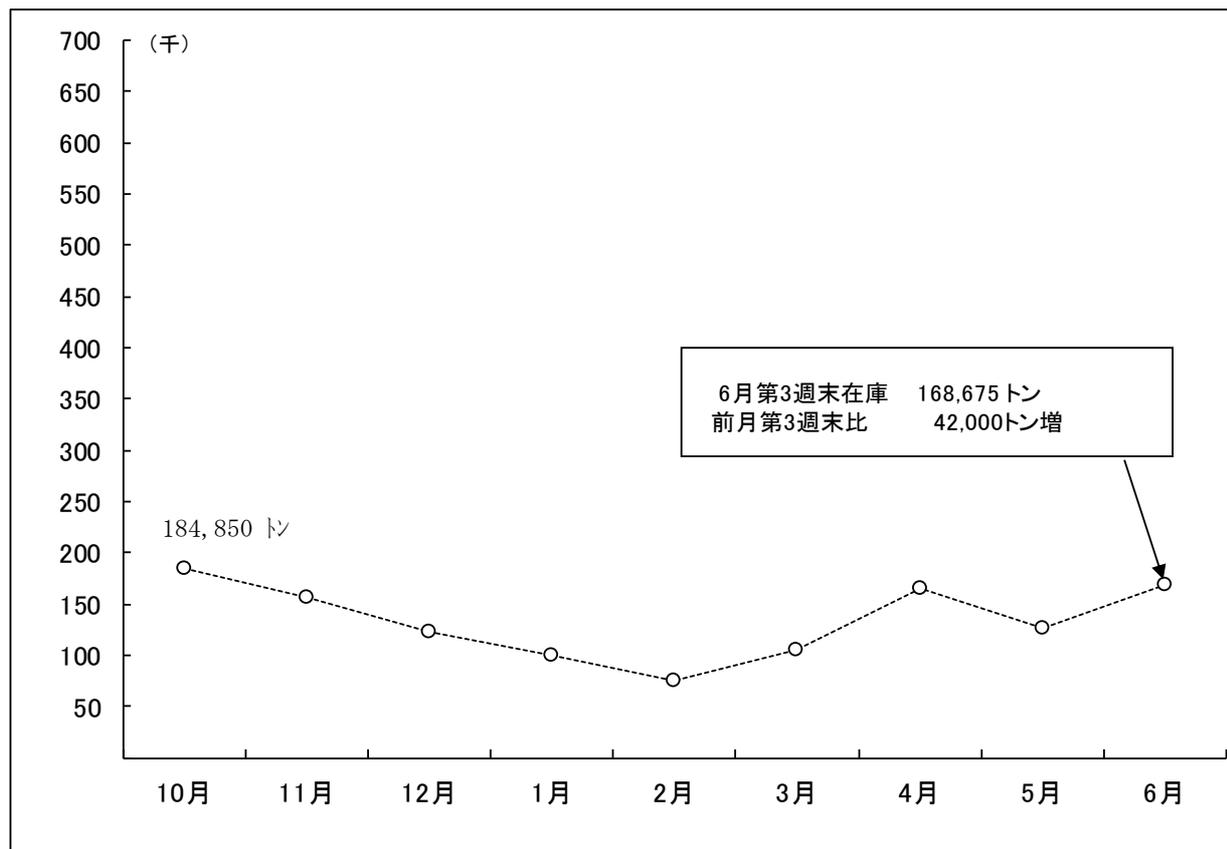
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位:トン)

	2021年2月	2021年3月	増減	2020年3月	増減
横浜	127,700	126,900	-800	156,500	-29,600
名古屋	124,100	127,000	+2,900	125,600	+1,400
大阪	16,900	16,300	-600	15,000	+1,300
合計	268,700	270,200	+1,500	297,100	-26,900

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・21年6月18日現在 53,317 S T 前月比 8,991 S T 減

◎ 国内山元電気銅在庫

・21年4月末 81,216 トン 前月比 30,887 トン減

◎ 伸銅品生産実績

・21年4月確報 67,555 トン  
・21年5月速報 61,410 トン 前月比 90.8 %

◎ 電線出荷実績

・21年5月速報 45,900 トン 前月比 83.5 %

◎ 軽圧品生産実績

・21年 5月	板 類	102,155 トン	
	押 出 類	52,907 トン	
		<hr/>	
		155,062 トン	前月比 92.9 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。